Ⅱ　教育行財政

1　教育委員会の構成



髙橋　勝 教育長



佐野　茂樹 委員
（教育長職務代理者）



中田　義仁 委員



齊藤　敦子 委員

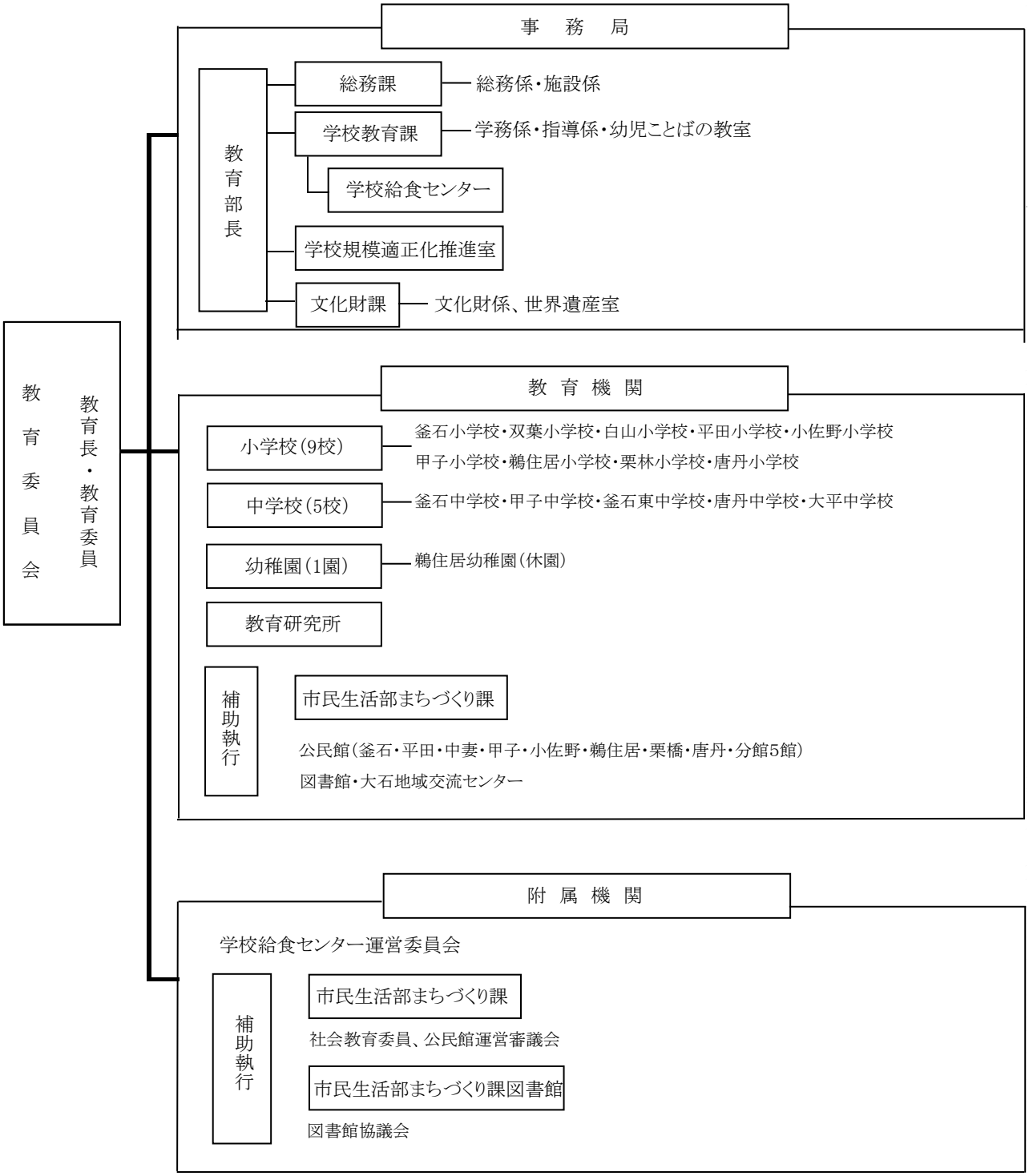


花輪　妙子 委員

（令和8年10月1日現在）

職　　名	氏　　名	任　　期	就任年月日
教　育　長	髙　橋　　勝	令和7年10月1日～令和10年9月30日 （3期目）	令和7年10月 1 日
委　　員 （教育長職務代理者）	佐　野　茂　樹	令和7年10月1日～令和11年9月30日 （2期目）	令和7年10月 1 日
委　　員	中　田　義　仁	令和8年10月1日～令和12年9月30日 （2期目）	令和4年10月 1 日
委　　員	齊　藤　敦　子	令和8年4月1日～令和9年9月30日	令和8年4月 1 日
委　　員	花　輪　妙　子	令和6年10月1日～令和10年9月30日 （2期目）	令和6年10月 1 日

２　教育委員会機構図（令和8年4月1日現在）



※ 教育委員会の事務の補助執行を行う市長部局の関係課

市民生活部まちづくり課	生涯学習係、図書館

3　教育委員会職員数

(1)　教育委員会事務局・教育機関等（学校以外）

令和8年5月1日現在

区　分	教育長	定数内職員															定数外職員			合計
		部長	課長職		補佐管理職				課長補佐	課付補佐	係長	課付係長	指導主事	主査等	主任・主事等	計	駐在・派遣	会計年度任用職員	計	
			課長	館長・所長	室長	主幹	所長	館長												
教育長	1															1			0	1
教育部長		1														1			0	1
総務課			1													1			0	6
総務係									1		(1)					1		1	1	
施設係									1		(1)			1	1	3			0	
学校教育課			1													1		0	0	13
学務係						1				1	(1)			1	2	5			0	
指導係											(1)	1	1	1		3	1	3	4	
教育研究所	(1)		(1)										(1)	(1)		(4)	(1)	2	2	2
学校給食センター				1							1			2	0	4	2		2	6
幼児ことばの教室										1				1		2		1	1	3
学校規模適正化推進室		(1)	1 (2)			(1)			1 (2)							2			0	2
文化財課			1			(1)										1			0	21
文化財係									1		(1)			2		3		7	7	
世界遺産室					1						1					2		3	3	
郷土資料館				(1)												(1)		3	3	
鉄の歴史館								(1)			(1)					(2)		2	2	
合計	1	1	4	1	1	1	0	0	4	2	2	1	1	8	3	30	3	22	25	55

注）カッコ数字は兼務職員数

⑵　学校

ア　幼稚園

令和８年５月１日現在

	園長	教諭	小計	教育補助員	合計
鵜住居幼稚園	1	0	1	0	1

イ　小学校

令和８年５月１日現在

	県費支弁職員数												市費支弁職員数					合計
	校長	副校長	主幹教諭	指導教諭	教諭	指導養護教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	小計	用務員	特別支援教育支援員	学校教育支援員	看護師	小計	
釜　石	1	1			10		1	1		1	1	16	1	2			3	19
双　葉	1	1	1		8		1			1	1	14	1	2		2	5	19
白　山	1	1			4		1			1	兼	8	1	1			2	10
平　田	1	1			9		1			1	1	14	1	1			2	16
小佐野	1	1	1		12	1	1			2	1	20	1	3			4	24
甲　子	1	1			12		1			2	1	18	1	2	兼		3	21
鵜住居	1	1			9		1		1	1	1	15	1	2	兼		3	18
栗　林	1	1			3		1			1	1	8	1				1	9
唐　丹	1	1			5		1				2	10	1	1	兼		2	12
合計	9	9	2	0	72	1	9	1	1	10	9	123	9	14	0	2	25	148

※「兼」は他校の職員が兼務している

ウ　中学校

令和８年５月１日現在

	県費支弁職員数												市費支弁職員数					合計
	校長	副校長	主幹教諭	指導教諭	教諭	指導養護教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	小計	用務員	特別支援教育支援員	学校教育支援員	部活動指導員	小計	
釜　石	1	1			23		1			1	2	29	1	2	1	1	5	34
甲　子	1	1			12		1			1	1	17	1	1	1	2	5	22
釜石東	1	1			9		1		1	1	1	15	1	1	2	1	5	20
唐　丹	1	1			6		1				兼	9	1		1	1	3	12
大　平	1	1			8		1			1	1	13	1	1	1		3	16
合計	5	5	0	0	58	0	5	0	1	4	5	83	5	5	6	5	21	104

※「兼」は他校の職員が兼務している

４　令和８年度教育行政方針演述（令和８年３月釜石市議会定例会）

令和８年３月釜石市議会定例会の開会にあたり、令和８年度の教育行政方針についてご説明申し上げます。

はじめに

令和7年度は、橋野鉄鉱山が、明治日本の産業革命遺産の構成資産の1つとして世界遺産として登録されてから10周年の節目の年でした。また、太平洋戦争の終戦から80年を迎える年度でありました。子どもたちにとって、改めて郷土の歴史を振り返るとともに、平和の尊さについて学ぶ機会となりました。

市内中学生によるかまいし絆会議の取組では、「かまいし絆議会」を行い、「持続可能な社会の担い手づくり」として、児童生徒に市政について関心をもってもらう一助としたところです。

令和8年度は、第六次釜石市総合計画の後期5か年の初年度となることから、さらなる学校教育の充実と文化財及び世界遺産の保存・活用に取り組んでまいります。

それでは、「第六次釜石市総合計画」に掲げる施策及び「釜石市教育大綱」に関わる事項を中心に、令和8年度の施策の大要について申し上げます。

１　健やかな成長を図る幼児教育の充実

幼児教育の充実につきましては、令和8年3月末をもって鵜住居幼稚園を休園することにともない、教育委員会が所管する保育・幼児教育施設は実質なくなりますが、引き続き保育・幼児教育施設と小学校との円滑な接続を中心に、幼児教育の充実に取り組んでまいります。

保育・幼児教育施設と小学校との円滑な接続については、年長児と小学1年生の2年間の架け橋期に適した活動や指導の改善を図るために作成した「架け橋期のカリキュラム」を活用してまいります。

また、令和8年度は、保育・幼児教育施設と小学校との合同研修会に加え、保育・幼児教育施設の保育士・教諭と小学1年生の教諭が、保育・幼児教育施設と学校で互いに1日を過ごし、相互理解と情報交換を図ることを目的にした相互1日体験研修会を実施し、より連携を深めてまいります。

２　生きる力を育む学校教育の充実

変化が激しく予測困難な時代にあって、学校教育には、児童生徒が自分らしさを発揮しながら、多様な他者と協働し、自らの未来を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる資質・能力を育成することが求められております。

学校教育の充実につきましては、「知・徳・体」を備えた児童生徒の育成のほか、自ら考え、判断し、自ら行動できる力、共生の力、自己肯定感、ふるさとを大切に思う心、そして、自他の命を大切にする子どもを育み、釜石市教育大綱に掲げる「志と豊かな心を持って未来を拓く力を育む人づくり」につなげてまいります。

教育の推進に当たっては、「まもる」（子どもの命を守る）、「つくる」（魅力ある学校をつくる）、「たかめる」（教職員の指導力や授業力を高める）、「のばす」（一人一人のよさや可能性を伸ばす）、「つなぐ」（歴史や文化、災害の教訓をつなぐ、子どもたちと地域や社会とをつなぐ）、「ささえる」（子どもの学びと育ちを支える）の6つのキーワードのもと、学校教育の充実を図ってまいります。

（１）　確かな学力の育成

確かな学力の育成につきましては、引き続き当市の課題であります。学力向上を図るためには、教師がどう教えるかに終始する学びから、子ども一人一人がどう学ぶのかを大事にした、教師主体の学びから子ども主体の学びへの転換をさらに図る必要があります。

令和7年度には、小中学校が連携して授業改善を図り学力向上につなげるために、中学校区単位

で実践交流会を行っております。この実践交流会では、小中学校が課題を共有し、学力向上に向け共通実践していくことを確認しております。令和8年度も実践交流会を継続し、小中学校が連携して授業改善に取り組むことで学力向上につなげてまいります。

また、小学校ではタブレット端末を活用したＡＩドリルを導入し学習に役立てることや教員の指導力向上のための研修の充実、指導主事による訪問指導等を通し、引き続き「学びの改革―子どもが主役の授業―」を掲げ取り組んでまいります。

（２） 豊かな心の育成

豊かな心の育成につきましては、児童生徒が、多様な他者との関わりを通して、他を思いやる心、自他の命や人権を尊重する心、自らを律する心、感謝の心と奉仕の心、豊かな情操などを、各教科での学びや道徳教育、体験活動など学校教育全体で育み、児童生徒一人一人が自分のよさに気づいて学校生活を送ることができるようにすることで、自己肯定感を高めてまいります。

また、豊かな情操を育てるため、「第5次釜石市子どもの読書活動推進計画　かまいし読書プラン2025」に基づき、読書活動に取り組んでまいります。

（３） 健やかな体の育成

健やかな体の育成につきましては、小学5年生及び中学2年生を調査対象とした「令和7年度全国体力・運動調査」の結果をみますと、体力合計点で、小学5年生男女と中学男子が全国及び県を上回っており、中学2年生女子が県より若干下回っているものの全国は上回っているという結果であり、取組の成果がみられます。

種目別に見ますと、全国や県を下回っているものもあることから、引き続き、体力や運動技能の向上を図る体育の授業の充実や体育的行事への取組、健康教育や食育の推進、岩手県教育委員会が推進し県全体で取り組む「60(ロクマル)プラスプロジェクト推進事業」の各学校での取組を通して、望ましい食習慣や規則正しい生活習慣、運動習慣の形成に取り組んでまいります。

（４） いのちの教育の推進

自他のいのちを守るために、主体的に行動できる児童生徒の育成を目指すいのちの教育は、当市の学校教育推進の柱の1つです。

防災教育の推進につきましては、引き続き「釜石市防災教育の手引き」を活用して取り組んでまいります。児童生徒が、防災に関する知識・技能を身につけ、様々な自然災害の発生に際し、主体的に行動できる力を育成してまいります。また、防災のみならず、学校教育全体を通じて生命尊重の心を育んでまいります。

令和8年度は、東日本大震災から15年が経過した年度になります。釜石市防災市民憲章に掲げる、「備える」「逃げる」「戻らない」「語り継ぐ」が、これまでのいのちの教育の取組を通して、児童生徒に育まれているのかを確かめながら、いのちの教育を推進してまいります。

（５） 国際理解教育の充実

国際理解教育につきましては、小中学校での英語の授業を通して言語運用能力を育成するとともに、外国語指導助手を活用し積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成してまいります。なお、令和8年度は、外国語指導助手を1名増員する計画でおります。

また、インターネットを活用した他国の児童生徒との交流などにより、グローバル化が進む社会において、児童生徒が他国の文化や人々の生活、考え方を理解し、共に国際社会の一員として生きる態度や能力を培ってまいります。

（６） 小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育の推進

キャリア教育の推進については、岩手県教育委員会では、児童生徒が将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力を総合生活力、児童生徒が主体的に人生計画を立て、進路を選択する能力を人生設計力と定義しキャリア教育で育成すべき能力としております。

このことに基づき、キャリア教育の推進では、小中学校の各発達段階に応じて、各種活動や職場見学、職場体験活動、進路選択の取組などを通じて、総合生活力及び人生設計力を育成してま

いります。そして、高等学校での「釜石コンパス」の取組により、将来のキャリアを主体的に考え、選択する力の育成につなげてまいります。

教育委員会では、令和8年度も総合政策課との連携により、中学生を対象に「釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業」による職業体験学習を実施いたします。

３　地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

（１）　地域との交流の推進

地域との交流の推進につきましては、各学校では、読み聞かせや学習ボランティアなど地域の方々に関わっていただくことを通した交流、お世話になっている地域の方々への感謝の会による交流などが行われています。老人福祉施設を訪問しての交流や交通安全の呼びかけを通した交流などを行っている学校もあります。

地域との交流は児童生徒が様々な方々との触れ合いを通して学ぶ貴重な機会です。地域との交流を児童生徒の豊かな心の育成や地域貢献活動として取り組むことで地域への関心を高めてまいります。

（２）　郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動

郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動につきましては、当市の豊かな自然、歴史や文化、ラグビー、産業などを学ぶべき資源とし、郷土を学ぶ学習や体験活動を通し、児童生徒が郷土のよさへの理解を深め、誇りと愛着を持ち、地域や社会に関心をもつ児童生徒を育ててまいります。

当市の特色である「鉄の学習」では、従前からの中学1年生による鉄づくり体験に加え、令和7年度からは小学5年生による鋳造体験を実施しており、取組の充実を図っているところです。さらに、令和8年度は、大島高任生誕200年となることから、鉄に関する体験学習と関連づけ、学びを深めることで、郷土への誇りと愛着を育んでまいります。

（３）　児童生徒の主体的な活動の推進

児童生徒の主体的な活動の推進につきましては、授業で、児童生徒が、自分で課題や学習方法を選択したり、自分で学習計画を立てて取り組むこと、児童会や生徒会活動で自分たちの学校生活に目を向け改善に取り組むこと、地域や社会に目を向け自分たちができることを考え取り組むことなど、児童生徒に考えさせ任せる場面や自分事として取り組ませる機会を設け、自分で考え判断したり、仲間とともに取り組んだりすることで、達成感を味わわせ、自己肯定感を高めることに努めてまいります。

（４）　学校給食を生かした食育の推進について

学校給食を生かした食育の推進につきましては、学校給食と関連させ、食の重要性や食に関する正しい理解と安全安心な食を選択できる力を養うための栄養教諭による食育の授業を行ってまいります。また、釜石の食材を使った献立による「まるごと釜石給食」や、地元企業の製品を学校給食に取り入れることにより、地元の食べ物への理解を深め、食への関心を高めるとともに、家庭と連携し、望ましい食習慣の形成を図ってまいります。

なお、令和8年度からは、市内小中学校に通うすべての児童生徒の学校給食費を完全に無償化し、家計負担の軽減と、子育て支援の更なる充実を図ってまいります。

４　教育環境の充実とさらなる向上

（１）　学校施設の適切な維持管理と環境整備

学校施設の維持管理につきましては、必要な修繕・補修を速やかに行うとともに、適正な管理に努めてまいります。

学校トイレの洋式化、特別教室へのエアコンの設置、校舎のＬＥＤ化などについては、児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう、引き続き計画的に進めてまいります。

また、国のＧＩＧＡスクール構想に基づく一人一台タブレット端末については、今年度更新準備が整ったことから令和8年度より本格運用してまいります。

（２） 家庭や地域との連携強化

家庭や地域との連携強化につきましては、コミュニティ・スクールにおいて保護者や地域の方々に学校運営に関わっていただいております。また、ＰＴＡ活動や地域学校協働本部事業の取組、各地区生活応援センター及び地域会議などの協力により、様々な学校支援や児童生徒の登下校の見守り活動など地域で子どもを育む取組が行われております。

今後も家庭、地域との連携を大事にしながら、地域で子どもの成長を支える取組をお願いしてまいります。

（３） 相談機能の充実

相談機能の充実につきましては、教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを中心に学校や児童生徒、保護者からの相談に対応してまいります。また、当市のこども家庭課や宮古児童相談所など関係機関とも連携、協力してまいります。

令和8年度は、不登校児童生徒の相談及び支援のため、釜石市教育支援センター「若葉教室」担当の相談員を1名増員いたします。

（４） 特別支援教育の充実

特別支援教育の充実につきましては、児童生徒一人一人に応じた支援を行うため、引き続き特別支援教育支援員の配置を計画してまいります。また、特別支援教育について専門的知見を有する関係者で巡回相談を実施し各校に助言を行う巡回相談事業も継続してまいります。

令和7年度には、市内副校長1名が特別支援教育に関わる検査資格を取得しました。このことにより、検査が必要となった際に、迅速に対応できる体制が整ったことから、今後の特別支援教育の充実に生かしてまいります。

５　生徒指導の充実

不登校対策につきましては、授業改善による「わかる授業」の実施、一人一人が安心して生活できる「居場所づくり」、お互いに認め合い共感できる「絆づくり」など、魅力ある学校づくりを推進していくほか、教育相談体制の充実、不登校の初期対応の重視、オンラインによる支援などを行ってまいります。

教育委員会では、令和7年度に市内5校の中学校に不登校対応のための支援員を配置し、校内教育支援センターの支援を行っております。5校のうち3校は小学校との兼務になっています。引き続き支援員を配置し、校内の支援体制への活用を図ってまいります。

また、釜石市教育支援センター「若葉教室」は、休園となる鵜住居幼稚園に移転し、教育環境の充実を図るとともに、相談員を1名増員し、アウトリーチ型の支援を行うことにより、機能強化を図ってまいります。

不登校の要因は複雑化しており、理由がはっきりしないものやゲーム依存によるものなどもみられることから、学校、保健福祉、医療との連携のもと、不登校児童生徒及び家庭への支援や教育機会の確保に努めてまいります。

いじめへの対策としましては、お互いを思いやりいじめを許さない学校風土づくりや人権意識の醸成による未然防止、教職員のいじめを見逃さない姿勢やアンケート調査、教育相談によるいじめの早期発見・早期対応、情報モラル教育の推進など、各学校で策定している「いじめ防止基本方針」に基づき、組織的に対応してまいります。

いじめ問題について関係機関で協議を行う「いじめ問題対策連絡協議会」においては、関係機関との情報共有やいじめ対策についての協議など連携しながらいじめ問題に対応してまいります。

６　校種間連携の推進

保育・幼児教育施設と小学校の連携につきましては、今年度完成した「架け橋期のプログラム」による取組の推進のほか、幼保小連携研修会や相互体験研修の実施による相互理解、保育・幼児教育施設と小学校との交流活動などにより、円滑な接続を図ってまいります。

小学校と中学校との連携につきましては、当市の課題である「確かな学力の育成」に向けた連携を中心に取り組み、その成果を中学校区ごとに行う「授業実践交流会」で検証してまいります。

高等学校との連携につきましては、高等学校の教員や生徒が小中学校からの依頼により訪問して授業を行ったり、児童生徒の活動をサポートする小中学校への出前授業を活用した連携を行ってまいります。

７　中学校の部活動について

中学校の部活動は、生徒の心身の健全な育成と豊かな人間性を図る上で大きな教育的意義を持つ活動です。しかし、生徒数の減少や部活動が全員加入から希望加入になっていることなどから、部活動への加入者の減少により十分な活動ができないことや自校に希望する部活動がないなどの課題があります。

教育委員会では、学校同士で合同部活動を行う際の交通費の支援のほか、他校の部活動に参加できる仕組みも作ってまいりました。

令和8年度は、他校の部活動に参加しやすくなる仕組みとして、新たに、拠点校方式を取り入れることとしております。拠点校方式とは、自校に部活動の種目がない場合、その種目の拠点校になっている学校の部活動に加入できる仕組みであり、従来の方法では、制度上の規定から他校の部活動に参加できても中学校総合体育大会に参加することができないことがありましたが、拠点校方式を取り入れることで中学校総合体育大会への参加が可能となるというメリットが生まれます。

部活動を支援する部活動指導員については1名増員し、4名を配置し部活動を支援してまいります。

国の方針では、令和8年度から令和13年度までの6年間を改革期間とし、休日については、改革期間内に、原則、すべての学校部活動において地域展開の実現を目指すとされております。部活動の地域展開は、子どもたちの成長を願い、地域で子どもを育てるという仕組みづくりでもあります。また、当市の芸術文化及びスポーツの振興にも関わるものです。引き続き、市長部局及び関係団体と協議してまいります。

８　教職員の働き方改革の推進

教職員の働き方改革につきましては、2026年度から2028年度の3か年を期間とする新たな「釜石市立学校における教職員の働き方改革プラン」（釜石市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画）を策定し、次年度より本プランによって働き方改革に取り組んでまいります。

本働き方改革プランは、教職員のワークライフバランスを確保し、やりがいをもって子どもたちの教育に力を尽くせる働きやすい職場環境をつくり、よりよい教育を行うことを目的とするためのものです。教職員が子どもと向き合う時間や授業改善に取り組む時間が確保できるよう取り組んでまいります。

９　学校規模の適正化・適正配置

市内小中学校の学校規模の適正化・適正配置については、今年度、「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」を策定いたしました。現在、令和9年4月に統合予定の鵜住居小学校と栗林小学校、平田小学校と白山小学校の統合に向け、統合準備委員会を設置し協議を行っております。

今後、推進計画により統合が予定されている学校については、統合準備委員会において、統合

に向けた協議を行ってまいります。

10　文化財の保存・活用

文化財の保存・活用につきましては、中・長期的な視点に基づき「釜石市文化財保存活用地域計画」に掲げる「歴史文化をいかし未来をつくるまち　釜石」を目指して、各種事業を展開してまいります。

令和8年度におきましては、学校と連携しながら子どもたちの体験学習として、鉄づくり体験や鋳造体験を実施してまいります。また、子どもから大人まで幅広く参加できる事業として、有形文化財公開事業や郷土芸能体験教室、歴史文化や食文化に関する講演会等を開催し、市民が釜石の歴史文化をより身近に感じられるよう努めてまいります。

そのほか、釜石の歴史文化の理解を深めるために、国史跡である橋野高炉跡及び屋形遺跡の調査を行うとともに、食文化や埋蔵文化財といった歴史文化の総合的な調査を進め、保存はもちろんのこと、活用によって関係人口の創出にも寄与してまいります。

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山については、発掘調査に基づき、適切な保護をしていくとともに、理解増進を図るべく、史跡整備も進めていきます。あわせて、「近代製鉄の父」大島高任の生誕200年となる令和8年度は、その関連事業を実施してまいります。

令和8年度は、「第六次釜石市総合計画　後期計画」のスタートの年度になります。「第六次釜石市総合計画」の教育文化分野に掲げる「未来を担う子どもたちの育成」及び「子どもを育む環境づくり」のための教育振興施策に取り組んでまいります。

議員各位と市民の皆様、保護者の皆様には、子どもたちを温かく見守り、ご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、教育行政方針といたします。

５　教 育 財 政

⑴　一般会計予算額と教育費の推移

（単位：千円、％）

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	比率	一般会計	教育費	比率
平成21	16,550,000	1,335,594	8.1	17,919,417	1,597,741	8.9
平成22	16,242,000	1,419,841	8.7	16,982,792	1,420,563	8.4
平成23	17,200,000	1,605,623	9.3	47,655,343	1,422,894	3.0
平成24	38,290,000	1,405,378	3.7	108,314,610	2,067,698	1.9
平成25	85,455,000	1,435,289	1.7	75,635,534	1,367,574	1.8
平成26	108,000,000	2,200,064	2.0	80,339,616	1,998,525	2.5
平成27	103,126,000	2,074,115	2.0	69,665,425	2,299,924	3.3
平成28	75,754,000	2,740,204	3.6	72,040,829	1,944,832	2.7
平成29	64,585,000	3,052,176	4.0	67,107,773	3,415,591	5.1
平成30	50,320,000	2,491,416	5.0	53,678,390	3,069,075	5.7
令和元年	44,757,000	4,087,898	9.1	53,346,455	4,529,628	8.5
令和2年	27,987,000	1,906,243	6.8	41,305,337	1,878,227	4.5
令和3年	20,487,000	1,702,742	8.3	23,553,020	1,660,570	7.1

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	比率	一般会計	教育費	比率
令和4年	19,823,000	1,649,711	8.3	21,754,713	1,671,162	7.6
令和5年	20,652,000	2,044,312	9.9	23,303,343	1,966,986	8.4
令和6年	22,654,000	1,907,140	8.4	22,669,781	1,834,982	8.1
令和7年	24,720,000	2,060,226	8.3	25,492,067	2,024,136	7.9
令和8年	21,559,000	1,914,889	8.9	—	—	—

⑵ 教育費予算構成の累年比較

（単位：千円）

年度	教育費総額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
平成21	1,335,594	231,897	194,242	103,116	175,489	253,559	377,291
平成22	1,419,841	252,504	253,076	117,802	160,584	271,597	364,278
平成23	1,605,623	233,272	381,189	114,009	160,868	286,017	430,268
平成24	1,405,378	199,682	182,348	131,499	186,197	211,846	493,806
平成25	1,435,289	201,577	247,618	145,457	129,713	202,159	508,765
平成26	2,200,064	203,740	661,417	150,164	402,060	246,915	535,768
平成27	2,074,115	241,915	296,998	198,431	180,490	355,922	800,359
平成28	2,740,204	246,763	190,912	155,954	71,593	240,696	1,834,286
平成29	3,052,176	262,299	419,749	140,420	71,869	400,765	1,757,074
平成30	2,491,416	263,700	213,431	163,891	62,744	435,480	1,352,170
令和元年	4,087,898	241,360	244,402	151,039	26,440	377,084	3,047,573
令和2年	1,906,243	314,704	341,657	170,365	13,467	366,869	699,181
令和3年	1,702,742	348,558	226,365	134,323	23,383	320,648	649,465
令和4年	1,649,711	360,024	206,722	151,781	18,320	353,294	559,570
令和5年	2,044,312	333,764	259,694	369,825	19,407	452,094	609,528
令和6年	1,907,140	365,145	339,315	119,599	16,519	467,312	599,250
令和7年	2,060,226	381,719	389,138	189,619	15,892	490,456	593,402
令和8年	1,914,889	396,986	238,891	125,284	2	566,877	586,849

⑶　令和８年度の主な事業

ア　当初予算

◆　教育相談員等設置事業　　２３，４４１千円

釜石市教育研究所の強化及び学校教育に関する専門的事項の指導強化を図るとともに、教育相談の充実に資するため、教育アドバイザー及び教育相談員を配置するものです。また、言葉やコミュニケーションに課題がある幼児に対し、個別の指導計画に基づいた専門的な支援を行うことばの教室講師、小学校に医療的ケア児に対する支援を行う看護職員を配置するほか、家から出ることができず学校や教育支援センター(若葉教室)に通うことができない児童生徒に対し、家庭訪問などのアウトリーチ支援を実施するアウトリーチ支援員を新たに配置するものです。

≪事業内容≫

- ○　学校教育アドバイザーの配置　　1人
- ○　教育相談員の配置　　1人
- ○　ことばの教室講師の配置　　1人
- ○　看護職員（医療的ケア児対応）の配置　　2人
- ○　アウトリーチ支援員の配置【新設】　　1人

◆　かまいし絆会議運営事業　　４０２千円

釜石の未来を担う市内の児童生徒が、自分たちの学校や地域の生活をよりよくするために何ができるかを考え、将来の釜石市をつくるリーダーとなれる力を身に付けていくため、かまいし絆会議として様々な活動を行うものです。

≪事業内容≫

- ○　かまいし絆会議（本会議、専門部会）の開催
- ○　各学校での地域活動の実施　　等

◆　特別支援教育支援員配置事業　　６５，２９８千円

ＬＤ（学習障がい）、ＡＤＨＤ（注意欠陥・多動性障がい）、ＡＳＤ（自閉スペクトラム症）や身体的な障がいをもつ児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、障がいによる困難を克服するための教育の充実を図るものです。

≪事業内容≫

- ○　特別支援教育支援員の配置　　19人

◆　かまいしコミュニティスクール推進事業　　１，４００千円

当市の鉄の歴史や風土、伝統、有形無形の財産を活用して郷土理解を深めるとともに、郷土の誇りや愛着を育てるための活動、地域の人材の活用をはじめとする地域との協働活動など学校の自主的な活動に対して助成するものです。

≪事業内容≫

- ○　交付額 1校当たり100千円（小学校9校、中学校5校）

◆　こころのケア事業　　２，４２４千円

児童・生徒の置かれている環境へ適切に働きかけ、ストレス障がいなどを早期に把握するなどきめ細かなケアを継続的に行うため、スクールソーシャルワーカーを配置するものです。

≪事業内容≫

○　スクールソーシャルワーカーの配置　　1人

◆　ＩＣＴ支援員配置事業　　２，７５８千円

急速に進む学校のＩＣＴ化により環境が大きく変わる学校現場の負担を軽減し、ＩＣＴ環境が児童生徒の学びのためにより有効に活用されるよう、ＩＣＴ支援員を配置するものです。

≪事業内容≫

○　ＩＣＴ支援員配置委託料

◆　学校教育支援員配置事業　　１６，４３１千円

不登校への対応が喫緊の教育課題となっていることから、別室登校や長期欠席となっている児童生徒の教育機会を確保しつつ、個々の状況に応じた支援を行うため、学校教育支援員を配置するものです。

≪事業内容≫

○　学校教育支援員の配置　　5人（各中学校）

◆　放課後等学習支援員配置事業　　３，６００千円

主に中学３年生の希望者を対象に、放課後等に学習会を開催し、学力の定着と学習意欲の向上を図ろうとするものです。

≪事業内容≫

○　学習支援員配置委託料

（教育費・10款１項３目／学校教育課）

◆　学校環境整備事業　　３５，９１９千円

市内小学校の校舎等について、児童が安全・安心に利用できるよう施設の長寿命化を勘案しながら、計画的に改修等を行うものです。

≪事業内容≫

○　双葉小学校エレベーター改修工事　　17,919千円

○　小佐野小学校空調整備工事　　18,000千円

（教育費・10款２項１目／教育委員会総務課）

◆　スクールバス購入事業　　５，０３５千円

スクールバスでの児童生徒の登下校における安全及び適切な運行のため、スクールバスの更新を行うものです。

≪事業内容≫

○　スクールバス購入　　1台

（教育費・10款２項１目／学校教育課）

◆　教材備品等管理費　　６，７３１千円

学習指導要領に基づいた教育課程の実施のため、標準的に必要となる教材備品や大型備品などの整備を計画的に進めることにより教育環境の充実を図るものです。

≪事業内容≫

○　グランドピアノ購入（平田小学校）　　等

（教育費・10款２項２目／学校教育課）

◆ **部活動指導員配置事業　　１，７８４千円**

令和7年に文部科学省により策定されたガイドラインに基づき、令和8年度からの改革実行期間における部活動の地域展開等を推進するため、市内中学校に部活動指導員を配置するものです。

≪事業内容≫

○　部活動指導員の配置　　5人

◆ **英検受検料補助事業　　５７４千円**

中学生の英語学習に対する意欲と学力向上を図るため、文部科学省が後援している英検の受検料を補助するものです。

≪事業内容≫

○　中学生が英語検定3級以上を受検する場合の受検料補助

（教育費・10款３項２目／学校教育課）

◆ **放課後子ども教室推進事業　　３，３７３千円**

行政等との連絡調整や活動プログラムの企画等を行う協働活動支援員及び子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーターを配置のもと、放課後等における安心安全な子どもたちの活動拠点を設け、自由遊びのほか様々な学習機会（放課後学習、体験活動、異学年交流等）を提供するものです。

≪事業内容≫

○　実施場所　　公民館、集会所、学校内施設、復興公営住宅集会室等
6教室（7小学校区）

◆ **地域学校協働活動体制推進事業　　４，８２１千円**

地域と学校が連携、協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーターの配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うものです。

≪事業内容≫

○　地域学校協働本部設置校
釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鵜住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校

（教育費・10款６項１目／まちづくり課）

◆ **文化芸術振興事業　　４，５６３千円**

市民誰もが文化芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術団体等の活動を支援し、市民の心豊かな生活の実現を目指すものです。

≪事業内容≫

○　釜石市民芸術文化祭開催事業補助金　　1,200千円
○　伝統文化子ども教室事業補助金　　150千円
○　文化芸術振興事業補助金　　2,000千円
○　岩手県青少年劇場市町村負担金　　297千円　　等

（教育費・10款６項１目／文化スポーツ課）

◆ **郷土資料館展示リニューアル事業【新規】　　２４，８１１千円**

郷土資料館の鑑賞環境の充実やインバウンド対応に資するため、展示パネルの多言語化及び展示資料を更新するものです。

≪事業内容≫

○　展示リニューアル委託料　　等

（教育費・10款６項１目／文化財課）

◆ **埋蔵文化財保存事業　　７，０４３千円**

埋蔵文化財の保護を目的として、遺跡の詳細分布調査のほか、個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査を実施するものです。

≪事業内容≫

○　市内に所在する遺跡の詳細分布調査

○　個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査

◆ **歴史はっけん事業　　１２，４２１千円**

市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、歴史や文化財を将来のまちづくりへ活用していくため、釜石市文化財保存活用地域計画に基づき、各種事業を実施するものです。

≪事業内容≫

○　釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催

○　市内の歴史文化に関する講演会の開催や調査の実施

○　かまいしの食文化に関する座談会や講演会の実施

◆ **鉄づくり体験事業　　２，００２千円**

近代製鉄発祥の地である当市の歴史への理解を深め、「ものづくりの精神」を伝えるとともに、郷土を愛する人材の育成を図るため、市内の中学一年生を対象にした鉄づくり体験や、鉄の週間に合わせた鉄の検定を実施するものです。

≪事業内容≫

○　市内の中学1年生を対象とした鉄づくり体験の実施

○　鉄の検定の実施

◆ **橋野高炉跡整備事業　　２７，０１３千円**

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、採掘場跡及び運搬路跡も含めた史跡整備のための調査を行うものです。

≪事業内容≫

○　史跡整備検討委員会の開催（2回）　　147千円

○　範囲内容確認調査委託料　　17,300千円

（採掘場測量委託料、発掘調査測量委託料、発掘調査補助委託料、遺物整理委託料、自然科学分析委託料）　　等

◆ **橋野高炉跡修復・公開活用事業　　４６，０００千円**

世界遺産・橋野鉄鉱山を適切に保存・修復し、後世に残していくとともに安全で快適な見学環境の確保や史跡に関する理解増進を図る必要があることから、二番高炉ブロックの見学路等の整備を行うものです。

≪事業内容≫

○　二番高炉ブロック見学路・遺構表示整備工事（その2）　　45,911千円　　等

◆　屋形貝塚保存活用事業　　１１，５７７千円

貝塚を伴う縄文時代の集落跡である「国史跡 屋形遺跡」を、保存・活用していくための取組みを進めるものです。

≪事業内容≫

○　釜石市屋形遺跡整備検討委員会の開催
○　遺跡の内容確認発掘調査（地下遺構探査）

◆　鉄の歴史館改修事業　　５５，０４４千円

当市の製鉄の歴史文化を学習する施設として昭和60年（新館は平成6年）にオープンした鉄の歴史館に、経年劣化による老朽化がみられることから、来館者の安全で快適な施設見学を確保するため、適切な改修を行うものです。

≪事業内容≫

○　エレベーター更新工事監理委託料
○　エレベーター更新工事

◆　みんなで伝える郷土芸能体験事業　　１，２００千円

少子高齢化などによって郷土芸能活動の後継者不足が課題となっていることから、子どもたちに郷土芸能を実体験する機会を提供することで、郷土芸能の継承、担い手の育成につなげるものです。また、郷土芸能等の映像記録を保存し、伝承活動の一助とするものです。

≪事業内容≫

○　郷土芸能体験教室
○　映像記録作成委託料

◆　橋野鉄鉱山事業　　６，３２５千円

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の周知と公開に向けた取組みを行うものです。

≪事業内容≫

○　橋野鉄鉱山リーフレットの印刷　　390千円
○　観光ガイド委託料　　1,071千円
○　環境整備委託料　　1,127千円
○　「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会負担金　　2,000千円　　等

◆　大島高任生誕200周年記念事業【新規】　　３，４０９千円

近代製鉄の父である大島高任の生誕200年を記念し、改めて歴史的偉業を広く周知するとともに、教材を作成し、教育、観光での活用を図るものです。

≪事業内容≫

○　シンポジウムの開催
○　理解増進用の教材（マンガによる伝記）の作成

（教育費・10款６項５目／文化財課）

◆ **学校給食用厨房備品更新事業　　６，７１０千円**

経年により劣化している学校給食センターの厨房備品の更新を行うものです。

≪事業内容≫

○　厨房備品（冷機器類）購入

◆ **学校給食用牛乳保冷庫更新事業　　９６２千円**

給食用牛乳を適正に管理し提供できるよう、経年劣化している牛乳保冷庫を順次更新するものです。

≪事業内容≫

○　牛乳保冷庫購入（釜石中学校）

◆ **学校給食費無償化事業【拡充】　　１０７，９１２千円**

子育て世帯の経済的負担を軽減し、より一層子育て支援を推進するため、第2子以降の児童生徒に対し行ってきた給食費の無償化について、令和8年度から完全無償化に拡充し実施するものです。なお、小学校分は国の方針で全国一律で給食費の無償化が行われますが、中学校分は市独自の施策として無償化事業を行うものです。

≪事業内容≫

○　対象人数　小学生　1,037人（予定）

　　中学生　　615人（予定）【市独自策】

（教育費・10款７項３目／学校給食センター）

６　教育委員会附属・関連機関

⑴　釜石市文化財保護審議会　（任期：令和6年8月23日～令和8年8月22日）

令和8年4月1日現在

番号	職　名	氏　　名	種別	委嘱開始年月日
1	会長	藤 原 信 孝	学識経験者	平成24年1月1日
2	副会長	瀬 戸　　元	学識経験者	平成21年5月1日
3	委員	河 東 直 江	学識経験者	平成24年1月1日
4	委員	鱒 沢 トモ子	学識経験者	令和2年4月1日
5	委員	千 葉 愛 子	学識経験者	令和2年4月1日
6	委員	藤 井 サエ子	学識経験者	平成21年5月1日
7	委員	千 葉　まき子	学識経験者	令和2年4月1日
8	委員	藤 井 静 子	学識経験者	令和4年8月23日
9	委員	佐々木 光 壽	学識経験者	平成17年4月1日
10	委員	市 川 淳 子	学識経験者	令和2年4月1日

⑵　釜石市学校給食センター運営委員会　（任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日）

令和8年5月28日現在

	氏　　名	所　　属	最初の委嘱年月日	選出区分
1	伊　藤　郁　子	双葉小学校校長	令和8年5月28日	小学校の校長
2	鈴　木　　慎	白山小学校校長	令和7年7月1日	小学校の校長
3	高　橋　美友紀	鵜住居小学校校長	令和7年5月29日	小学校の校長
4	佐々木　一　成	釜石中学校校長	令和7年7月1日	中学校の校長
5	中　村　明　彦	大平中学校校長	令和8年5月28日	中学校の校長
6	佐　藤　康　伸	岩手県立釜石祥雲支援学校校長	令和8年5月28日	その他教育長が指名する者
7	髙　橋　秀　彰	釜石保健所環境衛生課	令和7年5月29日	釜石保健所職員
8	瀬　戸　由里香	釜石薬剤師会	令和7年7月1日	学識経験者
9	木　村　正　樹	平田小学校ＰＴＡ会長	令和8年5月28日	小学校のＰＴＡ会長
10	佐　野　仁　彦	甲子小学校ＰＴＡ会長	令和8年5月28日	小学校のＰＴＡ会長
11	藤　原　　央	栗林小学校ＰＴＡ会長	令和8年5月28日	小学校のＰＴＡ会長
12	大　瀬　優　輝	釜石東中学校ＰＴＡ会長	令和7年7月1日	中学校のＰＴＡ会長
13	冨　澤　莉沙子	釜石小学校養護教諭	令和7年7月1日	その他教育長が指名する者
14	小　澤　喜久子	小佐野小学校指導養護教諭	令和7年7月1日	その他教育長が指名する者
15	阿　部　理　沙	唐丹小学校養護教諭	令和7年7月1日	その他教育長が指名する者
16	及　川　　結	甲子中学校養護教諭	令和8年5月28日	その他教育長が指名する者

⑶　釜石市社会教育委員　　（任期：令和６年１月１日～令和７年12月31日）

令和８年７月１日現在

	氏　　名	職　業　・　団　体　等	最初の委嘱年月日	種別
1	高　橋　昭　英	栗林小学校校長	令和８年５月１日	学校
2	野　田　満　哉	唐丹中学校校長	令和８年５月１日	学校
3	田　鎖　伸　也	岩手県立釜石高等学校校長	令和７年５月１日	学校
4	石　田　宏　子	釜石商工会議所女性会副会長	令和８年１月１日	社会
5	菊　池　錬　城	釜石市ＰＴＡ連合会顧問	令和８年１月１日	社会
6	浅　利　金　一	釜石市芸術文化協会事務局長	令和８年１月１日	社会
7	藤　井　智　哉	(一社)釜石青年会議所理事長	令和６年１月１日	社会
8	鈴　木　る　み	前 釜石市ＰＴＡ連合会母親委員	令和８年１月１日	家庭
9	佐　藤　　健	釜石市スポーツ推進委員協議会会長	令和６年１月１日	社会
10	柴　田　　渥	かまいし女性フォーラム’21代表・主婦	平成８年５月１日	家庭
11	吉　岡　真　美	放課後子ども教室協働活動サポーター	令和元年５月１日	家庭
12	菊　池　　亮	釜石市社会福祉協議会	平成30年１月１日	学識

⑷　釜石市立公民館運営審議会

任期：令和８年１月１日～令和９年12月31日　釜石・甲子・小佐野・鵜住居・栗橋・唐丹
任期：令和８年５月１日～令和10年４月30日　平田
任期：令和７年５月１日～令和９年４月30日　中妻

令和８年５月１日現在

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
釜石公民館	五安城　正　敏	釜石小学校校長	令和６年５月１日	学
	中　村　明　彦	大平中学校校長	令和８年５月１日	学
	鈴　木　　慎	白山小学校校長	令和６年５月１日	学
	柏　木　成一郎	大只越町2丁目町内会長	平成30年５月１日	識
	菊　池　有美子	主任児童委員	令和６年１月１日	社家
	山　崎　義　勝	大只越町内会長	平成30年５月１日	社
	合　澤　洋　子	民生児童委員	令和元年５月１日	社家
	小野寺　しず子	主婦	令和４年５月１日	家

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
平田公民館	布　田　　貢	平田小学校校長	令和８年５月１日	学
	中　川　崇　司	平田町内会会長	令和６年５月１日	社
	久　保　修　一	社会福祉法人清風会	令和４年５月１日	社
	高　澤　友　子	釜石湾漁業協同組合平田女性部部長	令和４年５月１日	社家
	佐々木　淳　子	釜石湾漁業協同組合白浜浦女性部部長	平成30年５月１日	社家
	福　田　　博	民生児童委員（主任児童委員）	平成30年５月１日	社家

	小　松　美　香	平田こども園園長	令和２年５月１日	学

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
中妻公民館	伊　藤　郁　子	双葉小学校校長	令和８年５月１日	学
	佐々木　啓　子	中妻子供の家保育園園長	令和７年５月１日	社
	村　上　雄　子	ニチニチソウ代表	平成27年５月１日	社
	佐々木　ひろ子	民生児童委員（主任児童委員）	平成27年５月１日	社家
	佐　藤　　力	中妻地区地域会議議長	令和２年８月１日	社
	万城目　千佳代	民生児童委員	令和２年８月１日	社
	高　橋　一　見	上中島Ⅱ期復興公営住宅自治会	令和７年５月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
甲子公民館	細　田　多　聞	甲子小学校校長	令和６年５月１日	学
	樋　岡　繁　典	甲子中学校校長	令和８年５月１日	学
	安久津　吉　延	松倉町内会	平成９年５月１日	社
	松　田　真　帆	放課後子ども教室協働活動サポーター	平成30年１月１日	家
	坂　本　慶　子	甲子歌う会代表	平成22年12月１日	社
	佐　藤　道　子	民生児童委員	令和５年５月１日	社家
	村　上　幸三郎	大畑町内会事務局長	令和２年１月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
小佐野公民館	松　本　孝　嗣	小佐野小学校校長	令和７年５月１日	学
	佐々木　一　成	釜石中学校校長	令和６年５月１日	学
	長谷川　こう子	民生児童委員（主任児童委員）	平成28年１月１日	社家
	山　田　礼　子	主婦	令和６年１月１日	家
	黒　田　　至	小佐野地域会議議長	平成28年５月１日	社
	金　濱　賢　一	小川町内会会長	令和６年７月１日	社
	吉　田　千　秋	釜石市スポーツ推進委員	令和２年１月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
鵜住居公民館	高　橋　美友紀	鵜住居小学校校長	令和７年５月１日	学
	髙　橋　晃　一	釜石東中学校校長	令和７年５月１日	学
	小　山　　士	鵜住居町内会	平成24年１月１日	社
	瀬　戸　保　子	主婦	平成26年８月１日	家
	萬　　ふじ子	行政連絡員	令和８年１月１日	家
	澤　本　和　子	主婦	平成25年１月１日	社

	山　口　未　来	釜石大槌地区郷土料理研究会	平成31年４月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
栗橋公民館	高　橋　昭　英	栗林小学校校長	令和７年５月１日	学
	川　崎　悦三郎	民生児童委員	令和４年１月１日	社家
	八　幡　和　郎	沢町内会副会長	令和４年１月１日	社
	川　崎　　通	無職	令和４年１月１日	社
	八　幡　裕　子	能舟木町内会会長	令和２年１月１日	家
	遠　藤　朱　実	自営業	令和２年１月１日	家
	小笠原　春　美	専業主婦	令和６年１月１日	家

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
唐丹公民館	村　上　優　子	唐丹小学校校長	令和８年５月１日	学
	野　田　満　哉	唐丹中学校校長	令和８年５月１日	学
	木　村　京　子	民生児童委員	令和元年５月１日	社家
	川　原　清　文	市文化財保護審議会委員	平成19年５月１日	社
	遠　藤　昭　子	釜石地区厚生保護女性の会副会長	令和８年１月１日	社家
	上　村　年　恵	保護司	平成19年５月１日	家
	佐久間　定　樹	健康運動実践指導士	令和２年１月１日	社

※種別：学＝学校教育関係者、社＝社会教育関係者、家＝家庭教育の向上に資する者、識＝学識経験者

⑸　釜石市立図書館協議会

（任期：令和７年５月１日～令和９年４月30日）

令和８年５月１日現在

役職名	氏　　名	委嘱時期	選出区分
委員長	藤　原　由香里	平成27年５月	社会教育関係者
副委員長	万城目　千佳代	平成30年５月	社会教育関係者
	野　田　摩理子	平成19年５月	学校教育関係者
	柴　田　　渥	平成29年５月	社会教育関係者
	市　川　淳　子	令和３年５月	社会教育関係者
	鈴　木　　崇	令和５年５月	社会教育関係者
	細　田　多　聞	令和６年５月	学校教育関係者
	千　田　雅　恵	令和７年５月	社会教育関係者
	菊　池　清　太	令和８年５月	学識経験者

⑹ 釜石市郷土資料館運営委員会

（任期：令和8年1月1日～令和9年12月31日）

令和8年4月1日現在

職名	氏　名	備考	備　考 （最初の委嘱年月）
委員長	柴田　渥	学識経験者	平成 7 年 4 月
副委員長	千坂　誠久	学識経験者	平成 13 年 4 月
委員	千葉　まき子	学識経験者	平成 26 年 1 月
委員	雲南　幹夫	学識経験者	令和 2 年 1 月
委員	川崎　通	学識経験者	令和 8 年 1 月
委員	市川　淳子	学識経験者	令和 8 年 1 月

⑺ 釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会

（任期：令和8年7月1日～令和10年6月30日）

令和8年7月1日現在

役　職	氏　　名	備　　考
委員長	小野寺　英輝	岩手大学理工学部准教授
副委員長	藤原　信孝	釜石市文化財保護審議会
	白崎　恵介	宮城県教育庁
	小笠原　房子	栗橋地区まちづくり会議(JA 花巻女性部釜石支部)
	丸山　直美	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
	菊池　郁夫	橋野町振興協議会
	丸山　浩治	岩手県立博物館
	黍原　里枝	有識者
	伊藤　雅子	釜石観光ガイド会
	河野　聡美	(公財)盛岡市文化振興事業団盛岡市先人記念館
	10 名	